

岩切中

復興願いモザイクアート



これがイチオシ

竹に雀 校章にデザイン

岩切中学校の体育館は、天井が高く、広々として開放感があります。ボールやシャトルを高く上げられ、スポーツを全力で楽しめます。校舎ともつながっていて、2階や3階から中の様子を見られます。

体育館にも飾られている校章は、伊達家の家紋「竹に雀」にあやかりデザインされました。真っすぐな竹は正義を表し、曲げられても元にもどる強さを表現しています。校章に込められた思いを胸に、生徒会を中心により良い学校生活を目指しています。

学校名 仙台市立岩切中学校
所在地 仙台市宮城野区岩切三所南23の2
創立 1947年
電話 022(255)8219
校長 糸谷 俊哉
生徒 567人

東日本大震災から10年の歩みを学ぶため、岩切中学校では昨年10月から今年3月にかけて、震災復興活動「絆プロジェクト」を行いました。3年生は野外活動で昨年10月、松島町や南三陸町を訪問しました。実際に被災地で話を聞き、震災や津波被害の大きさを目の当たりにしました。「私たちも復興の手助けがしたい」と考え、立ち上げたのが絆プロジェクトです。学年全員で紙に色を塗り、大きなモザイクアートを作りました。宿泊

被災地訪ね震災を学ぶ

した南三陸ホテル観洋から見た日の出を背景にしたアートは、震災の教訓を忘れずに、復興への気持ちが高まることを願いながら描きました。少しでも多くの人に思いが届くように、JR岩切駅の改札前に今年3月7日から10日間、掲示させていただきます。学年での絆、被災された方々との絆がより強まったプロジェクトになったと思います。これから大人になっても、震災の経験を語り継いでいこうと思うきっかけになりました。

復興を願いながら3年生が力を合わせて作ったモザイクアート



編集委員 飛田奈々花、伊藤惺 (3年)
指導教員 渡辺かえで

わが校わがまち スクール通信



今回は 前谷地小 (石巻市) 面瀬中 (気仙沼市)

優しい上級生をお手本に

越河小

絆生む「たてわり活動」

越河小学校では、上級生がリーダーとなって下級生と行動する「たてわり活動」に力を入れていきます。自分たちに行うことを考えながら取り組みます。代表的な活動を紹介します。一つ目は、毎日の校内清掃です。そうじの仕方を教え、役割を分担し、声をかけ合いながら取り組みます。一緒に仕事をすることで新たな絆が生まれています。二つ目は、毎年秋の球技大会です。赤、白、青、黄の4チームに分かれて熱戦をくり広げま

す。優勝を目指して、休み時間にも練習。フライングディスクを相手に当てる「ドッチビー」では、上級生がとったフライングディスクを下級生にゆずるなど優しく接する姿も見られます。ほかにも、集団登校や運動会のリレーなど、たてわりで行う活動がたくさんあります。上級生が指導する姿や活躍する姿は、下級生からこのつながりをお手本にして笑顔がふれる越河小にしていきます。



これがイチオシ

心和ます安産ダルマル

越河小学校の西側にある山に「安産だるま」という石碑があります。子どもたちが元気に生まれてくることを願って、1868(明治元)年に作られたといわれています。

越河小では昨年度、地域の宝物である安産だるまをイメージして「安産ダルマル」というキャラクターを作りました。みんなを笑顔にしたいと思って創作しました。生まれてすぐに人気者になりました。安産ダルマルは、みんなの心を和ませるために、これからも活躍する予定です。

学校名 白石市立越河小学校
所在地 白石市越河丑山下44
創立 1873年
電話 0224(28)2008
校長 河原 正樹
児童 35人



編集委員 斎藤葵子、高橋理人、高橋悠月、半沢美空、曳地爽羅 (6年)
指導教員 高橋雅己子